

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FT 当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

岐阜市立岐阜商業高等学校 様

岐阜市立岐阜商業高等学校の教職員様・事務職員様に、2023年6月に導入させていただいたORPHIS FT5430についてお話を伺いました。



「当たり前だった印刷作業のひと手間が・・・!?!」

現在、積極的な用紙削減の方針もあり、会議資料等は基本的にデジタルデータになっていますが、授業用のプリントなどは紙出力ですのでORPHISで印刷することが多いです。生徒数が多いためその分印刷枚数も多くなりますし、部毎の印刷も多く、平均で40部ほどのボリュームがあります。

ORPHISが導入される前までは、部毎の印刷の場合、机にそれぞれの印刷物を並べ、手作業で1枚ずつとって1部にまとめ、ステープル（ホチキス）止めを手作業でしていたので、すごく時間と手間がかかっていました。

ORPHISが導入されてからは、部毎の印刷でも自動で仕分けもしてくれますので、それだけでも大助かりですが、特に本校ではステープル機能が大変役に立っています。ORPHISは部毎の印刷後、機械の内部で正確に紙揃えをしてからステープル止めしてくれますので、角もまったくズレなく合わせてくれますし、印刷のスピードも格段に速いので、両面ページ+ステープルでも正確かつ速さを両立していますので先生方からの評価も上々です。今まで当たり前と感じていた印刷作業時間が大幅に短縮できたことで、導入前よりも他の業務時間を効率よくこなせるようになったと感じています。

「規格外の低印刷コスト!!」

JB VALUE SYSTEM(*)から、本校で使用しているORPHISは1枚当たり0.8円前後で印刷ができているという結果を教えてくださいました。しかもモノクロだけではなくカラーも含めての平均ですので、コスト面についても非常に満足しています。事務職員側でも経費削減でORPHISにて印刷をしようとしていまして（あくまで職員室の先生の邪魔にならない程度にですが・・・）、その結果は今まで校務用複合機の印刷枚数が月で約20,000~25,000枚ほどあったものが、現在は約半分ほどになっています。また、今までパソコンからの出力は、レーザープリンターの印刷に偏っていましたが、ORPHISの印刷コストが安いのでORPHISでの印刷が徐々に増えてきています。実際にレーザー複合機トナーの交換頻度も少なくなっています。

ORPHISはレーザープリンターと比較して省電力という点（二酸化炭素発生軽減）や、輪転機のようにマスターを使用しないという点（資源の節約）でも、SDGsのような環境への配慮ができている機械だと思います。印刷速度も速く、高画質の上に低コストであり、便利な機能がたくさんあるということで、ORPHISの使用頻度はかなり増えていると思います。

今回4年ぶりに対面販売となった市岐商デパートの案内チラシも、鏡島地域へ配達される新聞の折り込みチラシ用としてORPHISでカラー印刷を行いました。いろんな場面でORPHISを活用させていただいていますが、片面モノクロ原稿を100枚以上印刷する場合はRISOGRAPH(印刷機)で印刷を行った方が1枚当たりのコストが安くなるので、印刷内容や枚数によってORPHISとRISOGRAPHを使い分けしながら低コスト印刷を実現できています。

※JB VALUE SYSTEM…ORPHISの印刷枚数やインク残量などのデータを収集し、そのデータを分析・計算して1枚当たりのコストを算出したり、グラフを用いてどのような使い方をされているかが分かるような資料を作成させていただいており、より良い運用方法をご提案させていただいています。

営業担当者の声

様々な授業プリントを工夫して作成されている教職員様が多くいらっしゃる市岐商様にはぴったりの機械と思い、思い切って御提案させていただきましたが、本当に導入していただきよかったです。これからも、より質の高い授業プリントの作成をORPHISと共に御支えしたく思います。



担当営業：柚原 重彦